

防犯チェックポイント（子供の防犯対策）

<親子で一緒に確認しましょう>

○ 遊びに行くとき

家庭のルールは、親子で一緒に確認することで、子供も約束を守れるようになります。



親子で一緒に確認してから、遊びに行くよう指導をしてください。

- ・だれと
- ・どこで（例 〇〇公園）
- ・なにをして
- ・なんじにかえる

○ 公園などで遊ぶとき

一人で遊ばない。

保護者が付き添う、複数のお友達と一緒に遊ぶなど、一人にならないことが重要です。



- ・公園のトイレや遊具の一部には、周囲から見えづらい死角があるなど、防犯上危険な場所もあります。

普段利用する公園は親子で点検をしてみましょう。

○ お留守番するとき

子供がお留守番するときは、できるだけ外部との接触をなくすよう、具体的に指導をしましょう。



子供がお留守番をするときは、次のことをしっかり約束させましょう

- ・ 玄関ドアのカギ、窓のカギは必ずしめる
- ・ ドアチェーンがある場合は、閉めておく
- ・ 誰かが訪ねてきても出ない

※ 電話が鳴っても応答しないよう指導しましょう。

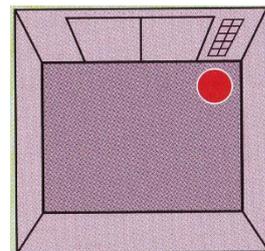
<場所ごとの防犯チェックポイント>

○ エレベーターや建物の中



・ エレベーターホールに見かけない人がいた場合、一緒に乗らないようにする

・ エレベーターでは、ボタンを押せる場所に壁を背にして立つ



エレベーターに乗る位置

○ 部屋の出入り口



- 部屋に入る前に、廊下に人がいないかを確認する
- 玄関ドアの周辺には荷物などを置かず、整理整頓し、死角を作らない

○ 階段や踊り場



- 声をかけられたり、付きまとわれたりした場合は、下の階へ逃げるよう指導する。
- 踊り場・屋上等あまり人の通らない場所は環境整理を行い、死角をなくす
- 防犯カメラを設置する。

○ 自転車置き場



- 不審な人がいないか周囲を確認するよう指導する。
- 自転車置き場を明るくする。
- 人通りのある場所に自転車置き場を移動したり、防犯カメラを設置する。

<地域全体で子どもを守りましょう>

- 登下校時を中心に、通学路や公園、学校周辺等の見守りをし、安全な環境づくりをしましょう。
- 普段からあいさつを交わすなど、子どもたちとのコミュニケーションをとりましょう。